

平成 27 年八幡平市議会報告会「議員と語る会」で寄せられた要望・提言等に係る市の対応方針（回答）

（１）柏台地区センター

項 目	学童保育クラブの施設管理（草刈り）は誰がやっているのか。
回 答	<p>柏台学童保育クラブの管理運営は、指定管理により八幡平市社会福祉協議会が行っています。</p> <p>業務内容には、「敷地の管理、除草及び除雪等を行うこと」が含まれており、敷地内の草刈りについては業務の範囲であることから、社会福祉協議会が行うこととなっています。</p> <p>本年度は、学童保育クラブ敷地内及びフェンス周り（歩道にはみ出た部分を含む）の草刈りを８月に１回実施しました。その他に、地域住民の方がボランティアで草刈りを２回（６月と７月）実施していただきました。</p> <p style="text-align: right;">（担当：地域福祉課）</p>

（２）八幡平市役所多目的ホール棟

項 目	まちづくりアンケート調査中の「あなたは、八幡平市が子育てしやすい市だと思いますか」に対しての「いいえ 54.4%」の具体的な理由を捉えているか。
回 答	<p>まちづくりアンケートは平成 27 年 3 月に実施し、西根・松尾・安代の 3 地区、20 代から 70 代まで、性別による人口割合に応じて計 3,000 人の無作為抽出による回答依頼のうち、1,990 人からの回答をいただき、回収率は 66.3%となっています。</p> <p>「あなたは、八幡平市が子育てしやすい市だと思いますか」という設問に対しては、全体で「はい」が 45.6%、「いいえ」が 54.4%でした。</p> <p>「いいえ」の回答に関しての地区別、性別、年代別の割合は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区別 西根地区 54.8%、松尾地区 49.1%、安代地区 59.1% ・ 性別 男性 61.1%、女性 48.2% ・ 年代別 20 代 56.9%、30 代 64.5%、40 代 61.1% 50 代 55.4%、60 代 46.0%、70 代 51.6% <p>3 地区の比較では、安代地区が「いいえ」と感じる人の割合が高く、女</p>

性よりも男性のほうが、「いいえ」の回答が高い結果となっています。年代別では、子育て世代といえる 30 代、40 代が「いいえ」の回答が高い現状があります。

直接的に「いいえ」と回答した理由を尋ねてはいませんが、アンケートの最後に、(1)これまでの質問の回答についての補足や説明 (2)これからの八幡平市に必要なことなど (3)その他、日ごろ感じていること、の自由記述の設問を設け、577 名の記入がありました。

そのうち、子育てに関連する内容では、保育料の軽減や、学童保育の無料化、小学生までの医療費の無料化に対する評価がある一方で、次のような要望も寄せられています。

- ・ 皮膚科・耳鼻科・産婦人科などの専門診療病院を設置すること
- ・ 街灯が少ないので、街灯を増やし通学路の安全を確保すること
- ・ 公園や、遊技場など、子どもが遊べる場所が少ないので改善すること
- ・ 職場に託児所があるなど、働きやすい環境をつくること
- ・ 保育所への入所や土日の託児、時間延長などの柔軟な対応をし、安心して働くことができる環境をつくること

これらの意見は、「子ども・子育て支援事業計画」（平成 27 年度～31 年度）策定の際に、「0 歳児から小学校 6 年生までの子どもがいる全ての家庭」及び「八幡平市に立地する雇用数 10 人以上の企業」を対象に実施した「子育て支援推進に関する八幡平市民調査」の自由記述・要望の記載においても、同様の傾向があることが伺えます。

このことから、市では現在策定中の第 2 次八幡平市総合計画基本計画において、「安心して子育てができるまち」の施策を推進することとし、次の内容を施策の方針として掲げる予定です。

- ・ 保育所の待機児童の解消に努めるとともに、放課後児童健全育成事業の充実を図るなど、保護者が子どもを安心して預けて働くことのできる環境づくりを目指します。
- ・ 保育所の老朽化も課題となっており、保育所の再配置などと併せて、待機児童解消のため低年齢児の受け入れの拡大等についても検討を進めます。
- ・ 妊婦健診などの支援のほか相談事業も充実することで、出産に係る不安などの解消に努めます。

また、自由記述の要望内容を全て実施することには難しい課題もありま

	<p>すが、今後、まちづくりアンケート同様の市民意識調査等を実施する際には、子育てに関する設問に対して、子育てしやすいまちと感じる市民の割合が高くなるよう、施策内容を広く知っていただくような情報提供に努めます。</p> <p style="text-align: right;">(担当：市長公室)</p>
--	---

(3) 荒屋コミュニティセンター

<p>項 目</p>	<p>市道兄川線の整備は具体的になるのか。</p>
<p>回 答</p>	<p>兄川地区の道路整備については、平成 26 年度に策定した八幡平市道路整備計画において、市道下兄川線（国道 282 号から夢の大橋を経て市道兄川線との丁字路交差点部まで）が 2 車線の整備を完了していることから、その先の市道兄川線については、丁字路交差点部を起点として約 800m の区間を対象として整備を予定しています。</p> <p>なお、整備時期については、整備計画期間 20 年のうち、中・長期とした 10 か年以降に事業着手を予定している B グループに位置付けているものです。</p> <p>一方、市の施策に関わる大規模なプロジェクト事業と捉えています安比地熱発電所（仮称）設置計画では、事業実施想定区域（草ノ湯付近）への経路として、二つのルートが想定されており、その一つとして兄川側からの通行では国道 282 号から市道下兄川線、兄川線、兄川支線を経由して発電計画地に至る経路とされていますので、現在、発電事業者により環境影響評価の調査を行っている段階であり、発電所の建設計画が具体的となってきた段階の適正な時期に、アクセスする道路の在り方についても、通行する工事関係車両、供用開始後の通行車両などを考慮するとともに、地域住民の重要な生活路線であるため、地域住民の通行の安全確保も図るよう併せて検討する予定です。</p> <p style="text-align: right;">(担当：建設課)</p>